

# 脳神経外科



副院長  
脳神経センター長  
塚原 徹也

専門医資格等  
日本脳神経外科学会  
専門医/指導医  
日本脳卒中学会 専門医  
日本脳卒中の外科学会  
技術指導医  
京都大学医学部 臨床教授  
京都大学医学博士  
専門分野  
脳神経外科  
得意疾患  
脳血管障害  
脳卒中の外科的治療



診療科長  
福田 俊一

専門医資格等  
日本脳神経外科学会  
専門医/指導医  
日本脳卒中学会 専門医  
日本脳卒中の外科学会  
技術指導医  
京都大学医学博士  
専門分野  
脳神経外科  
得意疾患  
脳動脈瘤  
良性脳腫瘍  
頭蓋底手術  
バイパス術

## □スタッフ

平成29年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	青木 友和	日本脳神経外科学会 専門医/指導医 日本脳卒中学会 専門医 日本癌治療学会 暫定教育医 京都大学医学博士	脳神経外科	脳腫瘍(悪性)、下垂体腫瘍、顔面痙攣、三叉神経痛
医 師	川上 理	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 日本脳卒中の外科学会 技術指導医 日本脳神経血管内治療学会 専門医 日本神経内視鏡学会 技術認定医 日本脊髄外科学会 認定医 京都大学医学博士	脳神経外科	脳血管障害
医 師	河原崎 知	日本脳神経外科学会 専門医	脳神経外科	
医 師	土井 健人	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医	脳神経外科	脳血管障害 脳腫瘍

## □診療科の特徴

施設認定等 | 日本脳神経外科学会研修施設

1. 当科は、脳卒中や頭部外傷などの脳神経外科領域の救急疾患に24時間対応し、地域救急医療に貢献していると同時に、困難な脳神経系疾患に対して集約的な治療も行っています。
2. 脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷、脊髄疾患など脳神経外科領域全般にわたって、患者さんの入院および外来加療を行っています。
3. 脳神経外科領域の疾患では、緊急に手術等の処置を行わなければ生命にかかわる場合もあれば、逆に病気はあるものの、定期的に外来で経過を観て行くことが適当である場合もあります。
4. 上記3.のような場合を除けば、手術をすべきかどうかは、その疾患自体だけでなく、症状や年齢、全身状態、手術の難易度、さらには患者さんの性格や家族構成などを考慮して決めるべきであり、たとえ同じ疾患でも個々の患者さんによって方針が異なってきます。
5. 私たちは、患者さんご自身やご家族に十分に病気についての説明をし、相談をした上で、インフォームドコンセントをとり、その上で適切な治療方針をとることが大切であると考えています。
6. いったん手術が必要であると決まった場合には、たとえ難易度の高い手術でも、従来の顕微鏡を用いた開頭手術に加え、血管内手術や神経内視鏡手術などの様々な手術法を用い、積極的に治療を行っています。

## □主な対象疾患

- ・脳血管障害(脳梗塞・クモ膜下出血・未破裂脳動脈瘤・脳内出血・その他の脳血管障害)
- ・脳腫瘍(グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・頭蓋咽頭腫)
- ・神経内視鏡手術
- ・頭部外傷
- ・機能的脳神経外科(顔面けいれん・三叉神経痛)

## □診療(業務)内容

- ・脳血管障害(脳梗塞に対する血行再建術・破裂および未破裂脳動脈瘤に対するクリッピング術および脳動脈奇形・脳内出血に対する開頭摘出術、内視鏡手術)
- ・脳神経血管内治療(脳動脈瘤塞栓、ステント設置、腫瘍塞栓、脳動脈奇形塞栓、急性期血管血行再建など)
- ・脳腫瘍(グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫)に対する摘出術
- ・神経内視鏡手術(下垂体腫瘍、脳室内腫瘍、水頭症、脳内出血など)
- ・頭部外傷(血腫除去術)
- ・脊椎脊髄疾患
- ・機能的脳神経外科(顔面けいれん・三叉神経痛に対する神経減圧術)
- ・頭蓋底および頸部腫瘍: 腫瘍摘出および血行再建術

## □診療実績(平成29年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
18.7名	287名	21.9日

外来患者数

1日平均患者数
29.2名

## □地域医療連携・広報活動

第15回脳卒中市民講座 2017年12月16日 於:京都第二赤十字病院

## □学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
研究会	山下陽生、川端康弘、福田俊一、青木友和、河原崎知、塚原徹也、中澤拓也 脳底動脈本幹部の脳動脈瘤に対してステント支援下に塞栓術を行った3例 第73回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2017.4.8 大阪
国際学会	S.Fukuda, Y. Shimogonya Surface area may be a more useful risk factor for cerebral aneurysm rupture than maximum diameter Experimental Biology 2017.4.23 Chicago
国際学会	Tomokazu Aoki Phase 1/2 Study of Temozolomide Plus Nimustine Chemotherapy for Recurrent Malignant Gliomas: Kyoto Neuro-oncology Group 5th Quadrennial meeting of the World federation of Neuro-Oncology Societies(WFNOS) 2017.5.5 Zurich, Switzerland
国内学会	青木友和 グリオーマの免疫チェックポイントと治療 第37回日本脳神経外科コンgres総会 2017.5.11 横浜
国内学会	Tetsuya Tsukahara, Shunichi Fukuda Surgical treatment of carotid artery stenosis 26th European Stroke Conference 2017 2017.5.26 Berlin, Germany
国内学会	増田裕一、安田謙、福田俊一、中村道三、栗田康弘、高田真基、齊ノ内信、河原崎知、川端康弘、村瀬永子、大谷良、青木友和、米本直裕、赤尾昌治、塚原徹也 日本人の非弁膜症性心房細動患者における心原性脳塞栓症のリスク因子: 伏見AFレジストリ 第4回日本心血管脳卒中学会学術集会 2017.6.3 福岡
研究会	青木友和 グリオーマの新しい免疫療法の可能性 脳腫瘍2017 2017.7.21 京都
国際学会	Yasuhiro Kawabata, Takuya Nakazawa, Naohiro Yonemoto, Shunichi Fukuda, Tetsuya Tsukahara Risk factors for recurrence after endovascular treatment of saccular cerebral aneurysms World Congress of Neurology 2017 2017.9.16-21 Kyoto, Japan
国内学会	川端康弘、中島教夫、福田俊一、塚原徹也、大谷良 脳梗塞急性期における血栓回収術の治療成績 日本脳神経外科学会 第76回学術総会 2017.10.12 名古屋

国内学会	福田俊一、下権谷祐児、The CFD ABO Study Group 多変量解析による未破裂脳動脈瘤の破裂リスクの血行力学因子に対する相関性の検討～計算流体力学 (CFD) 解析を用いて～ 日本脳神経外科学会 第76回学術総会 2017.10.12 名古屋
国内学会	青木友和 再発悪性神経腫に対するTemozolomideとACNUの併用化学療法(TA療法)の第I/II相試験 日本脳神経外科学会 第76回学術総会 2017.10.14 名古屋
国内学会	川上理、盛岡潤、三輪博志、村尾健一 再発性慢性硬膜下血腫に対する低濃度NBCAによる中硬膜動脈塞栓術の治療経験 日本脳神経外科学会 第76回学術総会 2017.10.14 名古屋
国際学会	Tetsuya Tsukahara Shunichi Fukuda Surgical Treatment of Carotid Artery Stenosis 13th International Conference on Cerebrovascular Surgery 2017.10.28 名古屋
研究会	川上理 急性期脳梗塞に対する血行再建術 ストップ!NO卒中プロジェクト エリアエキスパート会議 2017.10.28京都
国際学会	Tomokazu Aoki, Yoshiki Arakawa, Tetsuya Ueba, Masashi Oda, Namiko Nishida, Yukinori Akiyama, Tetsuya Tsukahara, Koichi Iwasaki, Nobuhiro Mikuni and Susumu Miyamoto Phase I/II Study of Temozolomide Plus Nimustine Chemotherapy for Recurrent Malignant Gliomas : Kyoto Neuro-oncology Group 22th Annual Meeting Society for Neuro Oncology 2017.11.18 San Francisco California
国内学会	川上理 再発性慢性硬膜下血腫に対する血管内治療の有効性 第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会 2017.11.23 東京
国際学会	Yasuhiro Kawabata, Takuya Nakazawa, Shunichi Fukuda, Tetsuya Tsukahara The efficacy of ozagrel sodium as a rescue or prophylaxis in the perioperative management of thromboembolism during coil embolization of ruptured and unruptured cerebral aneurysms. 14th World Federation of Interventional Therapeutic Neuro 2017.10.16-19 Budapest Hungary
国際学会	Yasuhiro Kawabata, Takuya Nakazawa, Naohiro Yonemoto, Shunichi Fukuda, Tetsuya Tsukahara Risk factors for recurrence after endovascular treatment of saccular cerebral aneurysms 14th World Federation of Interventional Therapeutic Neuro 2017.10.16-19 Budapest Hungary
国内学会	川端康弘、中嶋教夫、三宅英則、福田俊一、塚原徹也 院内発症の脳主幹動脈閉塞に対する経皮的血栓回収術の治療成績 第43回日本脳卒中学会学術総会 2017.11.23 東京
国内学会	川端康弘、中嶋教夫、三宅英則、福田俊一、塚原徹也 脳動脈瘤塞栓術におけるdouble catheter techniqueの適応と有用性 第33回日本脳神経血管内治療学会学術総会 2017.11.23 東京
国際学会	S Fukuda, Y Shimogonya, H Imamura, Y Matsui, N Yonemoto, N Sakai Enhancement of Disturbed Flow is Involved in Recanalization After Complete Endovascular Coil Embolization of Internal Carotid Artery-Posterior Communicating Artery Aneurysms International Stroke Conference 2018 2018.1.24 Los Angeles, CA, USA
国際学会	S Fukuda, M Fukuda, J Ando, K Yamamoto, T Tsukahara, K Hasegawa Shear Stress Sensing on the Endothelium Initiates Chronic Inflammation of the Arterial Wall During Cerebral Aneurysm Formation: Potential Novel Therapy for Cerebral Aneurysms With Paroxetine International Stroke Conference 2018 2018.1.25 Los Angeles, CA, USA
国際学会	Y.Shimogonya, S. Fukuda Significant Correlations between risk factors for rupture of cerebral aneurysms and hemodynamic factors by using computational flow dynamic (CFD) analysis and multivariate analysis International Stroke Conference 2018 2018.1.25 Los Angeles, CA, USA
研究会	川端康弘、中嶋教夫、福田俊一、塚原徹也 起床時発症の脳主幹動脈閉塞に対する経皮的脳血栓回収術の治療成績 第8回熱海脳血管内治療セミナー 2018.2.3 熱海
国内学会	福田俊一 血行力学的因子を最も反映する血管構造指標は何か?:CFD解析による新たな未破裂脳動脈瘤破裂リスクの検討 第43回日本脳卒中学会学術総会 2018.3.15 福岡
国内学会	河原崎知 硬膜動静脈瘻の2例 第43回日本脳卒中学会学術総会 2018.3.15 福岡
国内学会	土井健人 破裂した小さな中大脳動脈M1部脳動脈瘤の2症例 第43回日本脳卒中学会学術総会 2018.3.15 福岡
国内学会	川端康弘、中嶋教夫、三宅英則、福田俊一、塚原徹也 急性期血栓回収術においてsolumbra techniqueは有効か? 第43回日本脳卒中学会学術総会 2018.3.15 福岡
国内学会	川端康弘、中嶋教夫、三宅英則、福田俊一、塚原徹也 院内発症の脳主幹動脈閉塞に対する経皮的血栓回収術の治療成績 第43回日本脳卒中学会学術総会 2018.3.15 福岡
国内学会	増田裕一、大谷良、福田俊一、栗田康弘、高田真基、齊ノ内信、土井健人、河原崎知、川上理、村瀬永子、塚原徹也、赤尾昌治、中村道三 脳卒中既往のある心房細動患者における予後と脳卒中/全身塞栓症の発症危険因子 伏見AFレジストリ 第43回日本脳卒中学会学術集会 2018.3.15 福岡
国内学会	福田美雪、福田俊一、安藤譲二、山本希美子、伊藤由紀、井上隆之、塚原徹也、長谷川浩二、島津 章 血管内皮壁ずり応力センサーP2X4プリノセプター阻害薬Paroxetineを用いた脳動脈瘤形成抑制の検討 第43回日本脳卒中学会学術集会 2018.3.15 福岡
国内学会	川端康弘、中嶋教夫、三宅英則、福田俊一、塚原徹也 脳動脈瘤塞栓術後の再発危険因子の検討 第43回日本脳卒中学会学術総会 2018.3.16 福岡
国内学会	川上理 過去の脳血管検査にて異常を認めないものの新生脳槽脈流を形成しくも膜下を来した手術例 第43回日本脳卒中学会学術総会 2018.3.17 福岡

□ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	発行年 および月
Akenhead ML*, Fukuda S*, Schmid-Schönbein GW, Shin HY. (*; equal contribution).	Fluid shear-induced cathepsin B release in the control of Mac1-dependent neutrophil adhesion.	J Leukoc Biol	102	1	117-126	2017
Kawabata Y, Aoki T, Yamamoto T, Yasui H, Sawai S, Fukuda S, Kawarazaki S, Tsukahara T.	Pazopanib-mediated Long-term Disease Stabilization after Local Recurrence and Distant Metastasis of Primary Intracranial Leiomyosarcoma: A Case Report on the Efficacy of Pazopanib as a Salvage Therapy.	NMC Case Rep J.	5	1	1-7	2017
塚原徹也	もやもや病	神経疾患最新の治療2018-2020			119-121	2018
Yasuhiro Kawabata, Takuya Nakazawa, Shunichi Fukuda, Satoru Kawarazaki, Tomokazu Aoki, Takumi Morita, Tetsuya Tsukahara.	Endovascular embolization of branch-incorporated cerebral aneurysms	The Neuroradiology Journal 2017	30	6	600-606	2017.6
Yasuhiro Kawabata, Tomokazu Aoki, Tetsuro Yamamoto, Hisateru Yasui, Satoru Sawai, Shunichi Fukuda, Satoru Kawarazaki, and Tetsuya Tsukahara.	Pazopanib-mediated Long-term Disease Stabilization after Local Recurrence and Distant Metastasis of Primary Intracranial Leiomyosarcoma: A Case Report on the Efficacy of Pazopanib As a Salvage Therapy	NMC Case Report Journal				